

4 生活の基盤づくり

まちづくりの目標

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。

▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産や、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障がいのある人など、すべての人が安心して生活することのできる環境の整備に努めます。

▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。

▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家等については、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。



●コミュニティバス等運行事業

2828万円

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。また、民間バス会社の廃止路線の代替として、デマンドタクシーの運行をタクシー会社に委託します。

財源 繰入金2820万円 市8万円

▼まちづくり課



●バス交通支援事業

9073万円

地域の交通手段として、バスの運行を確保するため、不採算バス路線の維持や地域が運営を行うコミュニティバスの運行に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金9060万円 市13万円

▼まちづくり課



●浄化槽設置促進事業

2290万円

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽を設置する世帯に対し、設置に要する経費を補助します。

財源 国761万円 県761万円

▼管理課



●道路管理事業（単独）

1億872万円

老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県686万円 市債920万円 市9266万円

▼道路河川課



●都市計画総務事業（大規模盛土造成地変動予測調査業務委託料）【新】

1200万円

佐賀県が実施した第1次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地について、安全性を把握するための現地踏査などを実施し、今後の対応の指針となる第2次スクリーニング計画を作成します。

財源 国600万円 市600万円

▼都市政策課



●都市公園管理事業（公園施設長寿命化対策工事）【新】

3800万円

令和3年度に策定した『伊万里市公園施設長寿命化計画』に基づき、修繕が困難な遊具などを撤去し、新たに設置します。

対象となる公園は、ファミリーパーク、新田川河畔公園、川久保公園、国見台公園、円造寺公園です。

財源 国1900万円 市債1710万円 市1900万円

▼都市政策課

